

岩手県立大学 ソフトウェア情報学研究所 博士後期課程 アセスメント・ポリシー

【ディプロマ・ポリシー】

No	内 容（学生が修了までに身につけるべき能力）
DP1	自身の適性や能力を的確に把握し、情報技術分野に対する情熱を持って、意欲的かつ計画的に学習・研究を継続して取り組むことができる。
DP2	人間や社会に及ぼす様々な影響や効果を判断し、技術者または研究者としての責任を感じることができる。
DP3	情報技術・システムにおける問題・課題に対して、利用者の立場から適切な解決方法を導き出し、問題・課題を解決することができる。
DP4	国際的な視野に立って、情報技術・システムの幅広い知識とスキル、そして自身の専門分野における学識を修得し、様々な問題・課題に適した仕組みを企画・設計・開発・保守・運用することができる。
DP5	技術者・研究者の立場から、自身の見解をわかりやすく表現できるとともに、他者の意見を受け入れ、論理的な議論を交わすことができる。
DP6	既存の情報技術・システムに対して、本質的な問題・課題を提起するとともに、国際的にも価値のある新しい情報技術・システムを創造することができる。
DP7	現代社会における情報技術分野の課題や目指すべき目標を正しく理解するとともに、人と情報技術が調和した社会の実現に貢献できる。

【アセスメントの実施計画】

	項目	方法	時期	対応 DP	結果の活用（公開方法）	実施者
1 年次	ソフトウェア実践特別演習/ プロジェクト実践特別演習評価	SPA 実施報告書/プロジェクト実践特別演習報告会等の成果物	1 月	DP 3, 7	課題発見とそれを解決するために要する専門知識・幅広い教養, ならびにそれらをまとめ上げるコミュニケーション能力の評価（データ収集および学内 FD）	ソフトウェア 情報学研究所
2 年次	特別公開ゼミナール I	特別公開ゼミナール報告書	7 月	DP1, 5	個々の学生の意欲的かつ計画的な研究意思の確認, ならびに他者とのコミュニケーション能力の評価（データ収集および学内 FD, 学内電子化レポジトリ）	ソフトウェア 情報学研究所
3 年次	特別公開ゼミナール II	特別公開ゼミナール報告書	7 月	DP1, 5	個々の学生の意欲的かつ計画的な研究意思の確認, ならびに他者とのコミュニケーション能力の評価（データ収集および学内 FD, 学内電子化レポジトリ）	ソフトウェア 情報学研究所
	学位論文予備審査	学位論文予備審査報告書	2 月	DP2, 3, 5	技術者あるいは研究者としての責任感の確認ならびに、問題・課題解決能力の確認および専門分野のコミュニケーション能力の評価（データ収集および学内 FD, 学内電子化レポジトリ）	ソフトウェア 情報学研究所
	博士学位論文審査	学位論文審査及び修了試験報告書	2 月	DP 1, 2, 3, 4, 6, 7	博士学位論文の DP 各項目の到達度の評価（データ収集および学内 FD, 学内電子化レポジトリ）	ソフトウェア 情報学研究所